



平成 22 年 1 月 6 日

各位

会社名 株式会社日本エム・ディ・エム  
 代表者名 代表取締役社長 大川 正 男  
 (コード番号 7600 東証一部)  
 問合せ先 I R 部 棟 近 信 司  
 (03-3341-6705)

### 為替差損の計上及び平成 22 年 5 月期第 2 四半期累計期間 連結業績予想値と決算値との差異

平成 21 年 8 月 19 日に公表した平成 22 年 5 月期第 2 四半期累計期間 (平成 21 年 6 月 1 日  
 ~平成 21 年 11 月 30 日) 業績予想値と決算値に差異が生じたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 22 年 5 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値と決算値との差異 (平成 21 年 6 月 1 日~平成 21 年 11 月 30 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1 株当たり当期 純利益 (円)
前回発表予想 (A)	4, 930	320	190	△2, 520	△95. 23
決算値 (B)	4, 782	401	52	△2, 731	△103. 23
増減額 (B-A)	△147	81	△137	△211	△8. 00
増減率 (%)	△3. 0%	25. 6%	△72. 5%	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期累計期間実績	5, 164	81	△51	△259	△10. 73

#### 2. 第 2 四半期累計期間連結業績予想数値と決算値との差異が生じた理由

営業利益は、たな卸資産評価損の売上原価計上が大幅に改善されたこと並びに販売費及び一般管理費のコスト削減効果により当初計画を 25. 6% 上回る 401 百万円となりました。

経常利益は、最近の急激な円高の進展に伴い、米国子会社に対する貸付金 19. 2 百万ドル (前期末残高 24. 1 百万ドル、期中返済額 4. 9 百万ドル) を前期末レート 96. 47 円から 11 月末レート 86. 76 円へ評価替えしたことにより生じた為替評価損 186 百万円を営業外費用の為替差損へ計上したことにより、当初計画を 72. 5% 下回る 52 百万円となりました。

なお、当該為替評価損は、資金の流失を伴わない、時価会計の適用により生じた評価損失で

あり、12月末時点では、上記貸付金を12月末レート92.07円で再び評価替えしたことにより84百万円と11月末時点と比べ102百万円縮小しております。

また、当該為替変動によるリスクを回避するため、平成21年12月29日付けで締結金額を5百万ドルとする為替予約（締結レート：91.70円、受渡日：平成22年5月31日）を締結しております。

（ご参考）通期の連結業績予想について

売上面では、骨接合材料につきましては、引き続き厳しい状況が見込まれますが、ODEV社並びに日本メディカルマテリアル社の人工関節、Zimmer社の脊椎固定器具につきましては、国内の販売体制を強化し、堅調に推移すると予想しております。また、下期には新製品の投入が具体化しており売上に繋がるものと想定しております。

一方、販売費及び一般管理費は費用削減効果が更に見込まれる状況にあると考えております。

以上のことから、平成21年8月19日に開示いたしました当期における通期の連結業績予想は変更いたしません。

なお、当社の連結業績予想の前提としている対ドル為替レートは1ドル95円であり、為替相場の動向により予想値が大きく変動する可能性があります。

※上記に記載した業績等の予想数字は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上